

## 2 個別事業評価調書

団体名: 笠置町

事業名		危機管理強化対策事業			
事業の概要		近年電子機器の発達により、膨大なデータの管理を容易に行えるようになりました。データの中には個人情報を含むものもあり、その管理体制において十分配慮する必要があります。 そのため、電子機器の物理的な管理強化や、情報を一元管理しているサーバが設置されている電算室の防犯強化対策を講じる必要がありました。			
		事業期間	平成21年12月11日～平成22年3月19日		
		総事業費	887千円	本年度事業費	887千円
事業評価	事業の必要性	本事業を実施するまでの状況は、職員の使用しているパソコン等は管理体制が非常に甘く、持ち出しが容易な状況にあり、また電算室においては出入り口が鍵1本で入退室できるうえ、特別な安全策を講じておらず、管理体制が高いとはいえない状況にありました。			
	事業の有効性	電子機器の管理体制を強化することで情報漏えいを防ぎ、住民の信頼を確保することができる。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果		本事業によって電子機器の管理体制の強化が図られ、かつ職員の個人情報に対する保護意識を一層高めることができた。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。